

＜香川県内の経済動向＞（平成 28 年 12 月 15 日作成）

現在の景気：緩やかな回復を続けている。

3 か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：持ち直し基調。

10 月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 2.8%増と 3 カ月ぶりに増加。店調後は前年比 2.1%増と 3 カ月ぶりに増加。10 月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）3.8%増加。10 月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）1.7%減と 2 カ月ぶりに減少、ドラッグストアが同 6.9%増と 2 カ月ぶりに増加、ホームセンターが同 2.4%減と 3 カ月連続で減少。10 月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 11.6%と増加したものの、小型乗用車で同 1.0%減、軽乗用車で同 12.0%と減少し、全体では前年比 3.3%減と 2 カ月連続で減少。

住宅建築：振れを伴いつつも緩やかな持ち直し傾向。

10 月の住宅着工戸数は、持家で前年比 12.6%と増加したものの、貸家で同 30.8%減、分譲住宅で同 49.4%と減少し、全体では前年比 11.3%減と 2 カ月ぶりに減少。

設備投資：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2016 年 9 月）-香川県-」における 2016 年度の設備投資は、全産業で前年度比 21.1%増加見込み。

公共工事：足許減少も高水準で推移。

10 月の公共工事請負額は、国で前年比 64.6%減、県で同 28.0%減、市町で同 26.8%と減少し、全体では前年比 47.6%減と 3 カ月ぶりに減少。4～10 月の年度累計では前年比 10.6%増加。

輸出：底堅く推移。

10 月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 29.6%と増加し、全体では前年比 2.7%増と 2 カ月連続で増加。1～10 月の累計では前年比 13.0%増加。

生産活動：持ち直しの動きに足踏みがみられる。

9 月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 6.5%低下し、96.6 と 2 カ月ぶりに低下。原指数は、前年比 9.4%低下し 106.0 と 2 カ月ぶりに低下。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽）、非鉄金属工業（電気銅）などで低下。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、電気機械工業（開閉制御装置）などで上昇。

観光：堅調に推移。

10 月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 19.6%増と 2 カ月ぶりに増加。1～10 月の累計では前年比 2.6%増加。

雇用情勢：好調に推移。

10 月の有効求人倍率（季調済）は、前月より 0.02 ポイント上昇の 1.72 倍と 2 カ月連続で上昇。新規求人数（原数値）は、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、全体では前年比 5.7%増と 15 カ月連続で増加。

(トピックス)

○11月26日に丸亀城天守の今年の入場者数が昨年累計の10万1,869人を超え、2009年以降8年連続で過去最多を更新した。天主の入場者は昨今のお城ブームや歴史ブームなどで、07年から10年連続で右肩上がり。昨年は城内で京極家伝来の日本刀「ニッカリ青江脇指」の公開が起爆剤となり、10万人の大台を突破した。今年はさらに認知度が高まり、1月は前年比約50%増、5月は約20%増と、順調に入場者数を伸ばした。市観光協会が本年度に始めた城内での月1回のイベントに加え、瀬戸内国際芸術祭や夏場の入場時間延長が後押し。拡張現実（AR）や仮想現実（VR）の技術を活用した往時の姿の復元や、ミステリー小説を活用した誘致策、福井県坂井市（越前おろしそば）との“全麵対決”などの話題づくりも奏功し、11月20日には昨年より1カ月早く10万人を突破していた。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					